



えどがわボランティアセンターだより

出会い

ふれ合い

助け合い

令和7年8月発行
第73号

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【発行】

公益財団法人えどがわボランティアセンター
〒132-0031 江戸川区松島1-38-1 グリーンパレス
電話:03-5662-7671 FAX:03-3653-0740

江戸川区は、誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会の実現に向けてSDGsに積極的に取り組んでいます。

ここでも
ボランティア

江戸川区福祉ボランティア団体協議会活動部会で活躍中！ 大塚 隆俊さんにインタビュー



1 ボランティアを始めたきっかけ(ボランティアとの出会い)

公務員を2014年に退職後、「ボランティアフェスティバル」を見に行ったとき、仕事の時から知っていたボランティアの山本国子さんから出前ボランティア体験の見守りを手伝ってほしいと声をかけられたのがきっかけでした。出前ボランティア体験事業は2000年から始まり、私自身は今年で11年目になります。はじめは自宅の近くで開催されるときだけ参加していましたが、次第に範囲が広がっていき、区内全域の小中学校の出前ボランティアに参加するようになりました。

2 江戸川区福祉ボランティア団体協議会 活動部会での活動

出前ボランティア体験を実施した学校で参加した児童・生徒が書いてくれた感想をまとめた「感想文集」を1年に一度編集し、活動部会員で作業をして、全小中学校に配布しています。

また、出前ボランティア体験にお手伝いいただいているボランティアさんに声をかけて年一回交流会を実施して親睦を図っています。車いす・視覚障がい・聴覚障がい等で普段別々に活動していて、なかなか顔を合わす機会の少ない方々もボッチャなどで楽しく過ごしています。

以前は活動部会員も50人くらいいましたが、次第に高齢化したことと、コロナの影響もあり今は実働部員は30人くらいになっていますが、いつも部会員が協力し合い、なんとか都合をつけて参加してくれることに感謝しています。その協力があるからこそこの事業が継続できていると考えています。

3 その他の活動

保育園からの依頼で「昔の遊び」を実演するボランティアにも参加しました。あや取り、けん玉、ケンケン飛び、毬つき、羽根つきなどを教えました。みんな無邪気に、はしゃいでいたのが印象的でした。

また長年、「ボランティアセンターだより」の配付ボランティアも続けています。更に地元の町会では、役員として春と秋の清掃活動や防災訓練、運動会等様々なことに従事しています。

なお、「ボランティアフェスティバル」では今年度から実行委員になり、ステージコーナーの司会を務める予定です。

4 今後に向けて

これまでいろいろな方と関わってきましたが、改めて思うのは人との繋がりが大切で、その繋がりに出前ボランティアのお手伝いの申し出があるとうれしく思います。

最近はお前ボランティアのスタッフが不足しているので、ボランティアセンターと協力して広報誌やチラシで出前ボランティア体験事業の周知を図るとともに、私たちもボランティアフェスティバルなどで、スタッフ募集の働きかけをしていきたいと考えています。



大塚隆俊さん
(ボランティアセンターにて)



出前ボランティア体験事業
(左から2番目)



協議会活動部会にて部会員と
(右から2番目)



保育園で昔遊びを披露

問合せ先

(公財)えどがわボランティアセンター ☎03(5662)7671

2025 ボランティアフェスティバルの概要が決定!

2025ボランティアフェスティバルの概要が決まりました。
— 今年はフリーマーケットコーナーが再開します。 —



1 日 時 12月6日(土) 10:00~15:00

2 会 場 タワーホール船堀 1階展示ホール、2階平安 ※式典:11時30分~11時50分

3 内 容

(1)展示コーナー

(2)ステージコーナー

(3)イベントコーナー

(4)ボランティア募集掲示板

(5)ギャラリー

(6)フリーマーケットコーナー(2階平安)

※「ボランティア募集掲示板」及び「ギャラリー」の募集は8月ごろを予定しています。

※フェスティバルに関する詳しい内容は当センターホームページをご確認ください。

2025 夏のボランティア体験開催中

毎年好評の夏のボランティア体験を開催しています。夏休みを利用して、ボランティア体験をしてみませんか?

【期 間】8月31日(日)まで

【費 用】無料(別途ボランティア保険料350円がかかります)

【体験施設】図書館、保育園、特別養護老人ホーム、すすくすスクール、
ボランティア団体など

【参加資格】当センターで開催する説明会に参加した区民の方(小学生以上)

【説明会】8月9日(土)10:00~、8月20日(水)18:00~ グリーンパレス

※説明会は事前予約制です。電話、窓口、電子フォームで受付します。

※体験先は先着順です。また年齢などで体験できる施設は異なります。



入門講座「障がいを知ろう」を開催します

車いす利用者や視覚、聴覚の障がい者の方のお話から障がいを知り、誰でも楽しめるパラスポーツ
ボッチャを体験して、自分にできるボランティアと一緒に見つけましょう。

皆さまのご参加をお待ちしております。

1 日 時:8月16日(土)13:00~15:00

2 会 場:グリーンパレス2階 高砂・羽衣

3 費 用:無料

4 定 員:30名

5 講 師:江戸川区福祉ボランティア団体協議会のボランティア(主催者)

6 後 援:公益財団法人えどがわボランティアセンター

7 申込み:当センターに電話で先着順



このページのお問い合わせ先

(公財)えどがわボランティアセンター

Tel 03-5662-7671



「手話ボランティア養成講座」を開催しました

6月4・11・18・25日、7月2日(水)に全5回で、グリーンパレスで「手話ボランティア養成講座」が開催され、13名が参加しました。

「聞こえない、聞こえにくい人が困っていること」「手話での挨拶、自己紹介」「聴覚障がい者との交流」などを手話ボランティア講師から学びました。今後、手話ボランティアとして活躍していただく予定です。



おはなし会「アメリカザリガニ・ダンゴムシ・ヘビのはなし」が開催されました



6月14日(土)に上一色コミュニティセンターで「江戸川ボランティアおはなしこぼこ」(代表:山本国子さん)によるおはなし会が開催されました。

アメリカザリガニ、ダンゴムシ、ヘビのうんちとおしっこを題材に皆さんにお話をしました。親子連れ約30人の参加があり、お子さんたちは、げらげら笑いながら楽しそうにお話を聞いていました。

人生大学で人形劇“その後の白雪姫”が開催されました



7月に開催される江戸川総合人生大学の大学祭で行われる人形劇の公開練習が6月23日に行われました。2月に2回にわたり「江戸川ボランティアおはなしこぼこ」(代表:山本国子さん)のボランティア5人が人生大学の学生に対し、人形の作り方についてレクチャーしました。そのときに作成した人形9体で、人形の動かし方の研究を重ね、年を重ねた白雪姫、王子様、七人の小人たちという独自の脚本をもとに劇を披露しました。観客の皆さんは独自の内容の人形劇を楽しんでいました。



5月・6月分

●使用済み切手 受領:40件/13.5Kg

●寄付 匿名 5,000円 / 匿名 100,000円

ボランティアの振興に、有効に使わせていただきます

ボランティア団体登録数

登録団体数:159団体

登録人数:3,385人

(令和7年6月末現在)

「つながるフェスタ」で“アイフレンズ”が太鼓を披露しました

5月20日に船堀駅前で「つながるフェスタ」(主催:江戸川さんしょうがいフォーラム)が開催されました。

パレードが駅前に到着した後、ステージで「アイフレンズ」(代表:星谷弘子さん)の皆さんが太鼓の演奏を披露しました。

出店ではフランクフルト、ポップコーン、フルーツジュースなど様々な販売がされていて賑やかで皆さん楽しんでいました。



「小岩日本語クラブ」が小岩菖蒲園を散策しました

「小岩日本語クラブ」(代表:戸塚 弘さん)は、小岩図書館で毎週日曜日に外国人にボランティアが講師になり日本語を教えています。様々な国からの生徒さんと1回に30人以上の生徒が集まります。現在は生徒さんが多く、講師が足りていない状況です。講師になっていただける方を募集中です。

6月8日には教室が終わった後に講師のボランティアと生徒の皆さんと一緒に「小岩菖蒲園」に行きました。菖蒲の花がちょうど見ごろで非常にきれいでした。小岩日本語クラブでは教室だけでなく、このような日本の風情を感じることができるイベントも開催しています。



小岩日本語クラブの講師と生徒の皆さん

ハーブガーデン・ラベンダー収穫祭を開催

「ハーブガーデン・ラベンダー」(代表:青山やす子さん)は、江戸川区の動物園の小動物の糞や刈草を地中式の容器で堆肥や肥料を作り、できた肥料でハーブを栽培し、自然循環型公園の環境の保全に役立てています。

6月21日(土)に都立篠崎公園17号地(篠崎町8-15)にて収穫祭を開催しました。当日は、季節のハーブを使ったドライフラワー作りやハーブティーの試飲、切り花の販売などを行い、大勢の人たちで賑わいました。毎週土曜日の午前9時～午前11時まで活動していますので、皆さんぜひ見にいらしてください。



施設の児童に可愛い“うさたまちゃん”の折り紙をプレゼント

6月26日に児童養護施設「江戸川つむぎの家」(施設長:仲 貴義さん)に折り紙を20枚お届けしました。これは大杉にお住いの中山友莉子さんからの寄贈で、可愛いうさぎ“うさたまちゃん”の折り紙です。いつも心を込めて折ってくれる中山さんからは、「施設に入所している子どもたちにプレゼントです」というメッセージが添えられていました。

入所している皆さんに喜んでいただけるように仲施設長にお渡ししました。



折り紙“うさたまちゃん”



仲 施設長(左)へ折り紙をお届けしました